

拡大探訪ツアー

116J060 茂 木 葵

29年度拡大探訪ツアーでは、2/19～22日に例年通り沖縄へ行きました。28年度は先生方とともに2泊3日で行きましたが、今回は学生たちのみで3泊4日の探訪を楽しみました。

1日目は16時過ぎに那覇空港へ到着したため、その後は自由行動となりました。2日目に「美ら海終日観光バスツアー」が予定されていたので、部屋でゆっくりする人が多かったように思います。

2日目は予定されていた通りバスツアーへ参加させていただきました。古宇利島、美ら海水族館、御菓子御殿、琉球村と四か所を回るため、一か所一か所は短くなってしまいましたが、たった1日で多くの場所へ行くことができ、とても有意義な時間だったと思います。古宇利島では島を一周する時間をいただき、海をいろいろな角度で見ることができました。また、ガイドさんが道すがら絶景ポイントを教えてくださり、シャッター音と笑い声の絶えない道中となりました。



次に向かったのが美ら海水族館だったのですが、やはり人気の観光スポットなので観光客でいっぱいでした。個人的に一番訪れたかった場所だったので、ついつい友達を連れまわしはしゃいでしまいました。埼玉県にはそもそも海がないので海洋生物のいる水族館がありませんし、綺麗な海を見なが

ら様々な熱帯に住む魚たちを見られるのはとても心が躍りました。海に入ることはできませんでしたが、それでもあつという間の時間でした。御菓子御殿では紅芋タルトを買っている方がほとんどでしたが、イートインスペースのようなところがあり、ソフトクリームや紅いも生タルトなど珍しいものが食べられました。最後に向かったのが琉球村です。本来なら「道ジュネー」

という獅子舞やエイサーが見られるアトラクションを見られたのですが、少し遅くなってしまったため後ろのほうからしか見るができなかったため、途中であきらめてしまいました。しかし、中では水牛と触れ合ったり写真撮影ができたり、たくさんのお土産を見ることができました。

3日目は2つのグループに分かれ、私たちは琉球ガラス村に行きました。昨年度はお土産として琉球ガラスを購入しましたが、この機会にと琉球ガラスを手作りすることにしました。「手作り」と言っても、やる工程は「息を吹き込み溶けたガラスを膨らませる」「飲み口を広げる」所だけでしたが、初めて間近で見る溶けたガラスはとても熱く、とても緊張しました。職人さんが軽そうに扱っていたパイプは思っていたより重く、息を吹き込むだけでも少しコツがいるようで、私は1回で膨らませられませんでした。そんな難しさを知った後は、本当に職人さんは大変なお仕事をしているのだと思いました。ガラスを作った後は琉球ガラス村の中にある軽食屋さんでお昼を食べたのですが、飲み物が入っているガラスが本当にきれいで「これが欲しい」と思うほどでした。その日の夜は先輩方のお部屋で後輩たちともお話をしながら過ごしました。



今回、3泊4日でさまざまな体験ができたことは、本当に幸せなことだと思います。職人の技を間近で見ることができたこと、現地の方の沖縄ソングを聞いたこと、先輩後輩みんなとたくさんのお話できたことは、かけがえのない思い出となりました。次回の探訪ツアーでも先輩後輩わけ隔てなく

素敵な思い出が残るよう、また様々な人の温かさや歴史に触れられるようにしたいと思います。